



# 兵庫協連だより

HYOGO CONSUMERS' CO-OPERATIVE UNION

2025 2



「1.17ひょうごメモリアルウォーク2025」  
「震災を風化させない」「忘れない」「伝える」「活かす」  
「備える」「繋ぐ」をテーマに、「ひょうご安全の日のつどい」が実施され、兵庫県生協連も協賛をしました。その一環である「1.17ひょうごメモリアルウォーク2025」は王子公園～HAT 神戸までの約4kmを巡りながら震災や防災について考えます。コースの途中では、ワークショップや炊き出しなどが行われ、ゴール地点のHAT 神戸でも、企業や学校・団体などによる出展があり、防災について学ぶことができました。





兵庫県農業協同組合中央会  
代表理事常務

森垣 雄一郎

(もりがき・ゆういちろう)

## 日本の「食」と「農業」を 未来へつなぐ「国消国産」

兵庫県協同組合連絡協議会（兵庫 JCC）の幹事を務めさせていただいています。兵庫県農業協同組合中央会の森垣です。

みなさま方には、日ごろから JAG ループの事業、活動につきまして、多大なご理解とご協力をいただき心より感謝いたします。

ところで、「国消国産」という言葉はご存じですか。「国消国産」とは、JAG ループが提唱している、「国産民が必要とし、消費する食料は、できるだけその国で生産する」という考え方です。日本の食と農業を未来へつなげるという思いを込めます。

現在の日本の食料自給率（国内の食料供給に対する食料の国内生産の割合）はカロリーベースで38%、残りは海外からの輸入に頼っています。そのような中で、世界の人口は2050年には約100億人に増加すると予測されており、深刻な食料不足が心配されています。「食料なら外国から安く、いくらでも輸入できる」という安心が、この先もずっと続くとは限らなくなっています。

一方で、日本の農業といえば、農業をする人が高齢化となり、後継する人がいないなど労働力不足の問題が深刻

化しています。また、農業をしている人であっても、昨今の物価上昇による生産資材価格の高騰や農畜産物の販売価格の低迷、異常気象や自然災害による作物への被害などを背景に、続けていくことが大変厳しくなっている状況です。

食料は必要になったからといって短期間で増産することは出来ません。一度荒れてしまった農地からまた農作物を収穫するにはかなりの労力と時間が必要になります。また、食料を作って欲しいと思ってでも作る人がいなくなっているかもしれません。

「国消国産」の考えは、日本の食と農業を未来につなげるものです。多くの方にご理解いただき、より国産の食料を選び食べ、日本の農業を支えたいと思っただけの方が一人でも多く増えることを切に願っています。

各地の「地産地消」の積み重ねが「県産県消」につながり、「国消国産」になりますので、ぜひ、JAG の農産物直売所にお越しください。

また、JAG ループでは、林修先生や乃木坂46のメンバーと、「国消国産」について情報発信していますので、JAG ループのホームページをぜひご覧くださいませ。

### CONTENTS

2. 想点

3. 第20回 新春トップセミナー・賀詞交換会

4. 協同組合のかけ橋

5. 兵庫県のページ／ヨッシーの窓

6. フェニックス共済お知らせ／初級経理学校／  
県連行事予定／編集後記

## 第20回 新春トップセミナー・賀詞交換会

1月11日、湊川神社 楠公会館において、「第20回 新春トップセミナー・賀詞交換会」を開催しました。兵庫県の消費者行政の皆様や、共栄火災海上保険株式会社、会員生協・団体の役員と職員、あわせて38人の方々にご参加いただき、新年の決意を新たにすることができました。

新春トップセミナーでは岩山 利久会長理事の開会挨拶に続き、兵庫県知事 齋藤 元彦様からご挨拶いただきました。その後、神戸大学名誉教授・兵庫県立大学名誉教授 室崎 益輝様 から「これからのコミュニティ防災のあり方～阪神淡路大震災から30年、共助としての生協の可能性を考える～」と題して講演いただきました。室崎氏は「災害の時代」を迎えているなかで、社会の減災を進める必要があります、そこにはコミュニティの果たす役割が非常に大きく、災害時において自助や公助で行き届かない部分を、多様な人々が連携してコミュニティで防災を進めていくことの重要性を話されました。

最後に、生活協同組合の連携する力や地域密着型の取り組みが、災害において大きな役割を果たすと述べられ、参加者への励みになる、ことばをいただきました。



講師 室崎 益輝氏



齋藤 元彦 知事



岩山 利久 会長理事

その後開催された賀詞交換会には、兵庫県行政の方々にもご参加いただきました。岩山 利久会長理事の開会挨拶に続き、兵庫県県民生活部長 木村 晶子様によるご挨拶と乾杯のご発声で和やかに会がスタート。日頃からご指導いただいている行政の方々や友誼団体、会員生協・団体の皆さま、それぞれに賀詞を交換し、交流を深めました。



木村 晶子 県民生活部長

JF

## JF 兵庫漁連

### 一次産業現地学習会の開催 淡路地区漁協青壮年部連合会

淡路地区漁協青壮年部連合会（山崎 大輔会長：JF 淡路島岩屋）と洲本市農業青年会議による地元の一次産業PR活動の一環として、漁師や漁業に関わる仕事について知ってもらうことを目的に、11月25日（月）に仮屋漁港で兵庫県立淡路高等学校“花と緑と海のめぐみコース”の2年生24名を対象に現地学習会が開催されました。

はじめに、学生は仮屋漁協の市場でセリの様子を見学しました。ウオゼやタチウオ、マナガツオなど様々な魚がセリにかけられている様子を学生は興味深そうに見学し、漁師から話を聞いていました。

その後、洲本農林水産振興事務所の桂 基晃氏による淡路の漁業についての講義に移り、淡路で水揚げされる魚や豊かな海づくりの取り組みについて知識を深めたり、漁師の生活について質問をしたりしました。青年部員から漁師の年取について明かされると、その金額の大きさに学生は盛り上がっていました。

最後、山崎会長は「今日の授業を通じて少しでも漁業に興味・関心をもってほしい。漁師は大変なこともあるがその分リターンもあり、夢のある仕事。また、漁業に関する仕事には漁師だけではなく漁協職員などもある。島を出て大学に進学する人が多いかと思うが、大学を卒業して就職するとき、就職先の候補の一つとして漁業や水産団体のことを思い浮かべてくれればうれしい」と締めくくり、学習会が終了しました。



セリを見学している様子

講義の様子



山崎 大輔会長（左）と桂 基晃氏（右）

JA

## JA あかし

### 人にも環境にも優しい 餅づくりに取り組む

明石市の藤田佐代子さんは、夫婦で約50年にわたり農業に従事しながら、加工所「フユ」を経営し、多様な種類の餅を心を込めて手作りしています。餅は自身で栽培するもち米を使用したこだわりの逸品です。

藤田さんは、良質なもち米を作るため、ほ場の環境整備に力を入れています。地力増進を図るため、近隣牛舎から得た牛ふん堆肥を活用し10aあたり約6tを施肥しています。また、雑草が水を吸収して水不足とならないように隅々まで丁寧に草刈りをしたり、毎日欠かさずほ場に足を運び状態を確認するなど徹底した管理を心掛けています。これらの取組みにより、収穫量は年間約1.8tにも上り、安定した生産量を長年維持しています。

直売所の開店と同時に出来立ての餅を提供するために、収穫したもち米を深夜2時頃から加工し始めます。あん餅やおはぎに加え、かしわ餅や桜餅など季節に応じた餅を無添加で製造しています。JAあかし本店経済課西條優菜さんは「購入者からは、『風味が良く、弾力があって美味しい』と評判で売れ行きが良い人気商品となっています」と話します。

また、JAあかしと連携し、例年、西宮市のショッピングモールで餅つきイベントを実施するなど消費者とのコミュニケーションを大切に、子供たちに食の魅力を伝えています。藤田さんは、今後も人にも環境にも優しい良質なもち米を栽培し、消費者に満足してもらえるような餅を届けていきたいと意気込みます。





# カセットこんろ・カセットボンベの使用期限

鍋料理などでカセットこんろを使うことが増える季節ですが、災害時に備えてカセットコンロとカセットボンベを常備されている方も多いのではないのでしょうか。便利なカセットこんろ・カセットボンベですが、古いものでも安全に使うことができるのでしょうか。また、使用期限があるのでしょうか。使用期限のチェック方法や安全な使い方を確認して使用しましょう。

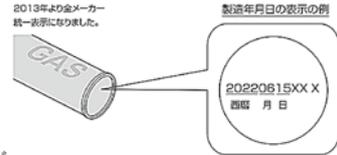
## チェック①

カセットこんろは製造から10年を目安に使用を止めましょう。カセットボンベは製造から7年を目安に使い切りましょう。カセットこんろとカセットボンベの接続部にあるゴム製部品（Oリング）は使っていないでも劣化は進みますので、ガス漏れの原因になります。



こんろ本体側面のシールに、製造年が西暦の数字下2ケタで、製造月が数字2ケタで、記載されています。  
例) 13.04…(固体番号)…と記載  
→ 2013年4月製造品

製造時期の表示箇所のイラストは、(一社)日本ガス石油機器工業会 冊子「ガス燃焼機器に関するQ&A」から引用



ボンベ缶の底面に、製造年月日が8ケタの数字で印字されています。  
例) 20220615と印字  
→ 2022年6月15日製造品

## チェック②

カセットボンベは必ずガスを使い切ってから、お住まいの自治体のゴミの回収ルールに従って廃棄してください。



廃棄時の「ガス抜き」のやり方

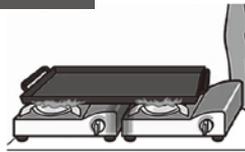
## チェック③

カセットボンベの中身が残っている場合は、カセットボンベの発売元・製造元または(一社)日本ガス石油機器工業会カセットボンベお客様センター(TEL:0120-14-9996 平日10時~16時(12時~13時除く))にご相談ください。

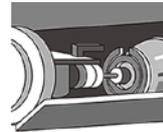
## カセットこんろ・カセットボンベの安全な使い方



大きな調理器具を使用しない。  
→ ボンベが爆発するおそれ



2台以上並べて使用しない。  
→ ボンベが爆発するおそれ



カセットボンベは表示どおり正しくセットする。  
→ 誤った装着はガス漏れや火災のおそれ

安全な使い方のイラストは(一社)日本ガス石油機器工業会HPから引用

兵庫県立消費生活総合センター ☎ 078-303-0999

適格消費者団体 NPO 法人ひょうご消費者ネット

# ヨッシーの窓

みなさま、こんにちは。適格消費者団体 NPO 法人ひょうご消費者ネットの吉江直記です。この冬は、インフルエンザが猛威をふるい、体調不良の声をよく聞きます。みなさま、体調崩れていませんか。寒さも少し和らいでいるこの頃、ここからの冷え込みには気を引き締めないといけません。

さて、みなさまは、「ダークパターン」という言葉をご存知でしょうか。私も最近、知ったのですが、名前だけ聞くと、映画かゲームの世界のようですが、そうではなくて、ダークパターンとは、ユーザーを騙して、たとえば、品物の購入時に保険に入らせたり、定期購入させたりなど、特定の行動を誘導するために慎重に設計されたユーザーインターフェイスのことをいうようです。このダークパターンについて、ひょうご消費者ネットでは1月12日に、神戸女子大学の秋山学教授をお招きして学習会を開催しました。ただ、ダークパターンには、常に悪意があるわけでもなく、常に消費者を騙しているわけでもなく、その損害が特定困難だったり、不明だったりするようです。具定例を聞くと、それウェブ上でよく見ている、というのが多かったので、次回、具体例を紹介していこうと思います。



ひょうご消費者ネット  
連絡先

〒650-0011 神戸市中央区下山手通五丁目7番11号兵庫県母子会館2階C  
TEL: 078-361-7201 E-mail: office@hyogo-c-net.com

# MOVE

自然災害で被災した住まいの再建に備えて 一兵庫県が実施する安心の制度一

## 兵庫県住宅再建共済制度 【フェニックス共済】



県内に住宅（戸建て・マンションなど）をお持ちの方に	住宅再建共済にご加入の方に	県内の住宅にお住まいの方に
<b>住宅再建共済</b>	<b>準半壊特約</b>	<b>家財再建共済</b>
年額5,000円で 再建・補修時等に <b>最大600万円給付</b>	<b>+</b> 年額500円で 補修時等に <b>最大25万円給付</b>	単独加入 年額1,500円で 住宅とセット加入の場合 年額1,000円で 購入・修復時に <b>最大50万円給付</b>
※ 半壊以上（損害割合 20%以上）	※ 損害割合 10%以上 20%未満	※ 床上浸水又は半壊以上

あわせて備えて  
もっと安心!

フェニックス共済 + 他の共済・地震保険

※住宅の被害認定（損害割合）は、住宅の所在する市町が発行する「り災証明書」によります。

フェニックス共済は単独でも加入できますが、他の共済や地震保険とあわせて加入ができます。

お問い合わせ・お申し込みは、ホームページ または コールセンターまで!



公益財団法人 兵庫県住宅再建共済基金

フェニックス共済

検索

コールセンター 078-371-1000 (平日 9:00 ~ 17:00)



## 2024年度兵庫県生協連「初級経理学校」ご案内

- 日時 2025年3月6日(休) 13:30~16:30
- 実施方法 オンライン (Zoom)
- 内容 決算関係書類の見方を理解し、経営分析の手法について学びます。ケーススタディでは決算関係書類の事例や自生協・会社の数値をもとに実際に各種経営指標を算定し、経営状況を分析する演習を行います。
- 対象 会員生協・団体の役職員
- 講師 日本生活協同組合連合会 管理本部 経理部  
決算・経営企画G 湯浅 慶星氏
- 定員 30人
- 受講料 無料



申し込み・問い合わせ ☎ 兵庫県生活協同組合連合会 TEL **078-894-3207**

### 編集後記

阪神・淡路大震災から30年を迎え、今年には特にさまざまな行事や記事を目にする機会が多かったように感じます。当時私は、関東に住んでおり、幼かったこともあり、長らく「自分ごと」として考えることはできずにはいません。しかし色々なイベントなどで自分よりも若い世代が語り継ぎの活動や、防災に関する展示などをしてる姿を見て、「経験してないから、語れない」というのは違う」と感じました。自分ができることを自分なりに備え、つなげていくことをしたいと思います。

〈権藤〉

### 県連行事予定

- 2月3日 第5回理事会
- 2月10日 組合員の参加を考える研究会
- 2月13日 共済生協部会
- 2月17日 ひょうごこまるごと健康チャレンジ実行委員会
- 2月19日 兵庫JCC 虹の仲間づくりカレッジ
- 2月20日 兵庫JCC 事務局会議